

重要性を増す課程教育

亜細亜大学学長
池島 政広

平成 25 年に、『亜細亜大学課程教育研究紀要』が創刊されることになり、誠に喜ばしい限りです。本学は三つの教育目標を掲げております。第一に、国際社会、とりわけアジアの融合を目指して貢献できる人材を育成することです。第二に、自立した個々人が協力し合うことの大切さを説いた本学の「自助協力」の建学精神に基づく、人間性重視の教育を行うことです。そして第三に、新しい社会の創生に貢献できる創造力溢れる人材の育成を掲げております。

この教育目標の下に、本学の課程教育が施されてまいりました。具体的には、まず中学校の社会・英語、高等学校の公民・商業・英語の教育免許に関わる「教職課程」があります。この課程を履修している学生数は、全学部合わせて昨年度 204 名にのびます。中高の教育の充実、今後の日本を背負い、さらには国際社会の繁栄に貢献できる人材の育成にとって極めて大事なものです。グローバル化の動きに対応した、英語教育の充実、日本社会や文化を良く理解し、それを世界に発信する力の向上が求められています。最近、このような教育再生の論議が熱くなっており、これに応えるべく、中高の教員の質の向上を図るよう、教職課程の充実が問われています。

次に、司書資格取得に関わる「図書館学課程」があります。この課程を履修している学生数は、全学部、短大合わせて昨年度 54 名になります。情報化社会の進展の中で、図書館の役割は大きく変貌してきております。その場で、個々人が様々な知識を吸収し、それらを自らの頭で再構築して、新たな知識を発信していく、知的創造の拠点になってきております。このような機能を持った図書館で働く司書の意義は大きいと言えます。

そして、社会教育主事の資格取得に関わる「社会教育主事課程」があります。この課程を履修している学生数は、全学部合わせて昨年度 23 名になります。社会教育事業の企画・実施などを行う専門的な役割を担っており、地域における生涯学習の大切さが叫ばれる中、ますます重要性を帯びてきております。

グローバル化への対応、さらには生涯学習を含めた COC(Center of Community)機能の強化に取り組んできた本学は、今後、この課程教育にも一層の力を注いでまいります。